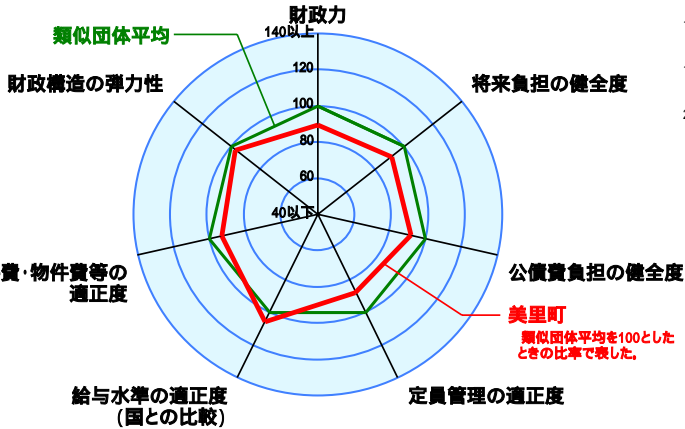
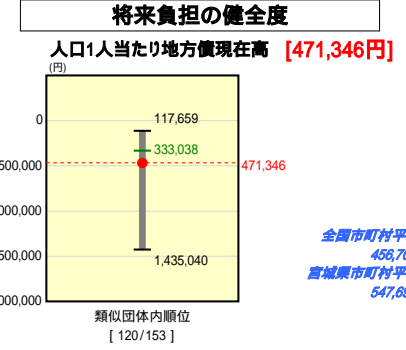
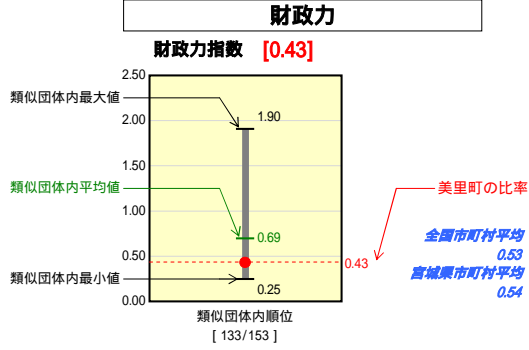


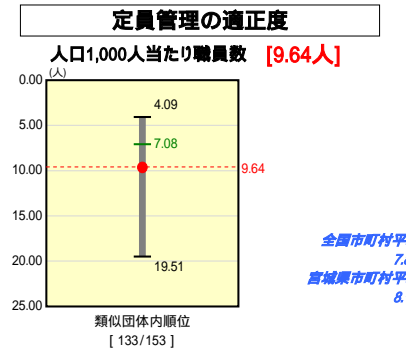
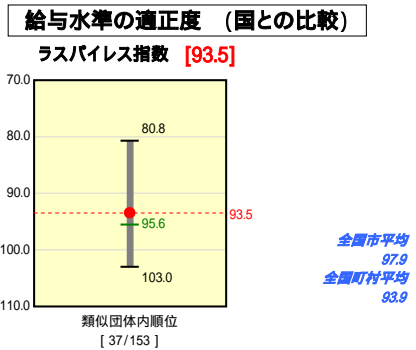
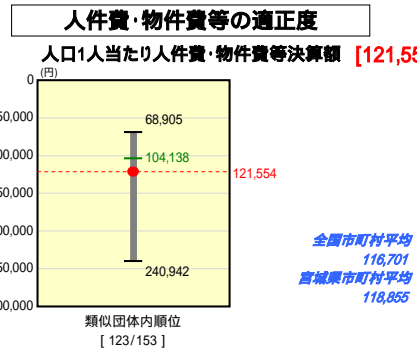
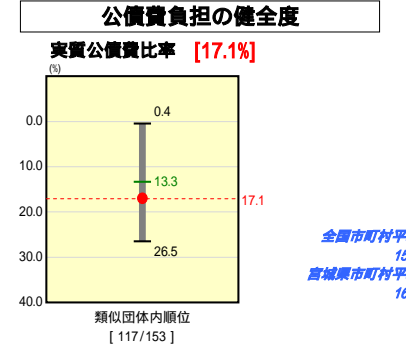
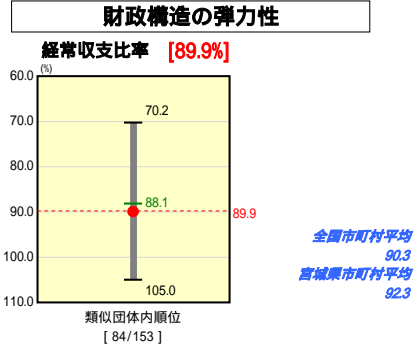
市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

宮城県 美里町

人口	26,458	人(H19.3.31現在)
面積	75.06	km ²
歳入総額	10,499,255	千円
歳出総額	10,270,244	千円
実質収支	204,649	千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析

財政力指数
景気低迷による減収及び65歳人口が32.5%と高いことなどから類似団体を下回っているが、近年は微増傾向(単年度財政力指数ベースで、平成15年度から平均0.02の増)にある。今後も町税の徴収強化(平成19年度から3年間で3%向上)に努め、さらに企業誘致を始めとした産業振興に努める。

経常収支比率
経常収支比率における人件費の割合が高いため、類似団体よりも比率が高くなっている。定員適正化計画及び集中改革プランを踏まえ、人件費の総額抑制に努める。また、財政健全化計画を踏まえ、中長期的視点に立った計画のかつ健全な財政運営を行う。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額
人口1人当たりの物件費は類似団体よりも低いものの、人件費が類似団体を上回っている。これは、主として教育に重点をおいた政策を行ってきたことにより、特に教育費に占める人件費の割合が大きいためである。定員適正化計画及び集中改革プランを踏まえ、人件費の総額抑制に努める。

ラスパイレズ指数
H18から給与構造の見直し及び昇給昇格制度の変更等により、類似団体平均を下回っている。引き続き各種手当等を含めた人件費の見直しを図り、より一層の適正化を図る。

人口1人当たり地方債現在高
市町村合併に伴う投資的事業の財源とするための地方債の発行により、類似団体平均を上回っている。市町村建設計画における投資的事業の実施年度の見直しや投資的事業の優先順位付けによる事業の取捨を行い、財政健全化計画を踏まえながら、適正な財政運営に努める。

実質公債費比率
平成21年度をピークに減少に転ずるが、今後、合併特別事業債の発行が見込まれるため、財政健全化計画を踏まえながら、新町建設計画における投資的事業の実施年度の見直しを図り、平準化に努める。

人口1,000人当たり職員数
合併に伴い類似団体平均より上回っている。また、教育に重点をおいた政策を行ってきたことにより、特に教育に従事する職員数が多いことも要因のひとつである。定員適正化計画に基づく職員定数の削減(平成24年度までに20%削減)を行うとともに、各種施設の統合を進め、職員配置の効率化に努める。